

市議会だより



12月定例会

令和2(’20)年2月1日発行



駅西口公園
「西口わくわくひろば」

「オケちゃん子ども・子育て応援基金」で設置した乳幼児用の遊具です。鴨川保育所のもも組(2歳児)の子どもたちが、寒い冬にも負けずに、元気に遊んでいました。

主な内容

- 12月定例会
議長・副議長選挙結果
各委員会の紹介
2～3ページ
- 議案審議
請願・意見書・採決結果
4～5ページ
- 一般質問(16人)
6～13ページ
- 本議会ライブ中継
開始のお知らせ
議会からのお知らせ
編集後記ほか
14ページ

◆ 12月定例会日程 ◆

- 12月11日 開会、議長の選挙、副議長の選挙、議席の指定、常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙、市長の行政報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託
- 16日 総務常任委員会
- 17日 民生経済常任委員会
- 18日 建設文教常任委員会
- 19日 一般質問(相馬・岡野・岡安・加藤・保坂)
- 20日 一般質問(渡邊・岩崎・砂川・山中・坂本)
- 23日 一般質問(仲又・星野・新島・浦田・北村)
議会だより編集委員会委員の選任
- 24日 一般質問(にいつま)
- 26日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、市長提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程・説明及び表決、請願の委員長報告・質疑・討論及び表決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論及び表決、閉会

議長 糸井政樹氏 副議長 仲又清美氏 を選出



議員改選後初めての議会のため、12月定例会初

の11日に議長選挙が行われ、

議長選挙

投票の結果、糸井政樹議員が当選しました。

投票の結果、仲又清美議員が当選しました。

糸井政樹 15票
坂本敏治 2票
(無効投票2票)

副議長選挙

投票の結果、糸井政樹議員が当選しました。

投票の結果は、次のとおりです。

仲又清美 12票
星野充生 2票
江森誠一 1票
(無効投票4票)

就任のあいさつ



議長 糸井政樹



副議長 仲又清美

市民の皆様には、日ごろより市政並びに市議会に對しまして温かいご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。私たちは、昨年12月議会において、議員各位からのご推挙をいただき、議長、副議長という重責を担うこととなりました。身に余る光栄と感激いたしますとともに、その責任の重さを痛感しているところでございます。

議会は、市が提案する予算や条例等について審議し、議決や認定を行うとともに、議会自らが条例を制定する権限を持っています。当然のことながら、その審議に当たっては常に公正公平な立場で十分に議論することが必要です。議長として議会の果たすべき役割と責任を自覚し、市民の皆様の意見を反映したまちづくりには先導的な役割を果たしていかねばならないと、決意を新たにいたしました。

活発な討議を経て、市民福祉の増進や地域経済の活性化、そして次世代に引き継ぐ魅力ある桶川のまちづくりのための施策を生み出し、市民協働のまちづくりが進められますよう、議会の更なる改革に努め、信頼される開かれた議会を推進してまいりますので、今後とも、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

各常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の各委員の選任や、上尾・桶川・伊奈衛生組合議会、桶川北本水道企業団議会、埼玉県史道企業団議会、埼玉県史道企業団議会、埼玉中部資源循環組合議会の各議員選挙が行われ、その結果は次のとおりです。

上尾、桶川、伊奈衛生組合議会	桶川北本水道企業団議会	埼玉県中央広域事務組合議会	埼玉中部資源循環組合議会
坂本 敏治 砂川 和也 北村あやこ 仲又 清美 加藤ただし	星野 充生 岡安 政彦 江森 誠一 佐藤 洋 糸井 政樹	岡野千枝子 保坂 輝雄 新島 光明 山中 敏正	岩崎 隆志 相馬 正誠 江森 誠一

改選後、新たに結成された会派は、次のとおりです。
(太字は代表者)

《新政会》

相馬 正人 砂川 和也
岡野千枝子 岡安 政彦
糸井 政樹

《新風クラブ21》

江森 誠一 にいつま亮
新島 光明 佐藤 洋

《公明党》

仲又 清美 岩崎 隆志
保坂 輝雄

《日本共産党》

坂本 敏治 星野 充生

《政和会》

加藤ただし 山中 敏正

《ともに生きる会》

北村あやこ 浦田 充

《無会派》

渡邊 光子



各委員会の委員が

決まりました

12月定例会において、総務常任委員会、民生経済常任委員会、建設文教常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の各委員が選任されましたので、紹介します。

任期は、令和3年12月までの2年間です。

◎委員長

○副委員長



総務常任委員会

後列左から

糸井 政樹 砂川 和也 加藤ただし

前列左から

渡邊 光子 ◎岩崎 隆志 ○新島 光明



建設文教常任委員会

後列左から

山中 敏正 保坂 輝雄 星野 充生 相馬 正人

前列左から

浦田 充 ◎にいつま亮 ○岡安 政彦



民生経済常任委員会

後列左から

坂本 敏治 ○江森 誠一 佐藤 洋

前列左から

仲又 清美 ◎岡野千枝子 北村あやこ



議会だより編集委員会

後列左から

山中 敏正 にいつま亮 保坂 輝雄 糸井 政樹

前列左から

浦田 充 ◎星野 充生 ○砂川 和也 渡邊 光子



議会運営委員会

後列左から

加藤ただし 坂本 敏治 相馬 正人 砂川 和也

前列左から

北村あやこ ◎佐藤 洋 ○保坂 輝雄

議案審議の条例等

条例等

各常任委員会に付託された条例等についての審査の際の質疑で、主なものは次のとおりです。

桶川飛行学校平和祈念館設置及び管理条例

桶川飛行学校平和祈念館を設置すること、及びその管理に必要な事項について定めるものです。

問

だ若者の姿が本場に平和を発信する資料になるのか。当時は、国のために命をささげようという教育がされ戦後否定をした。この点は設置の目的と、資料の整合性がとれるのか疑問がある。考えを伺う。

答

戦争という不幸な時代の若者たちが、飛行学校で何を学び、どんな生活を送っていたのかを示すことにより、歴史の流れ、時代の流れの中に飛行学校があったこと、平和の尊さを来館した人に感じてもらいた

いと思います。

展示物の内容、館内表示は、どの程度決まっているのか。

問

建物の配置は、県道に近い南側から弾薬庫、守衛棟、車庫棟、兵舎棟、便所棟と配置されています。

答

兵舎棟が平和祈念館の展示のメインとなり、桶川分教場の歴史を初め平和へのメッセージなどの展示を行います。

具体的な資料としては、開校を知らせる当時の新聞記事や飛行学校で使われた教科書、当時の写真など、再現展示は、ベッド18台を設置するなど当時の寄宿室の様子を再現します。

さらに、飛行学校を卒業した若者が戦地に赴く様子や、飛行帽などの装備品、ご贈りいただいた戦時中の資料、遺書の写しなどを展示します。

車庫棟は、桶川分教場に関する建物の構造や復原整備工事についての展示、再現展示を行います。

守衛棟は、情報コーナーや再現展示とし、他の平和資料館のリーフレットやポスター、市内のイベントなどに関する案内を行います。

平和に関する調査研究、資料の収集等は相当専門的な方が必要かと思うが、どのように考えているのか。

問

特に専門職を配置するのではなく、平和祈念館の市職員が業務の中で行っていきます。何人ぐらいの人数を見込んでいるのか。

答

全国でも貴重な建物群ですので、数字の参考となる例が少ないため、類似施設を参考にすると、年間約1万3,000人程度の来場者ではないかと思っています。

問

7億円かけて、年間の維持コストが約2,500万円かかる。見学者数は、当然想定しないと、そんな大きな投資というの、通常は行政ではあり得ない。もっと明確に数字を出していただきたい。

答

なかなか希少な建物ですので、想定はありませぬ。※反対、賛成の討論がありました。

問

市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例

答

市長、副市長及び教育長並びに議会の議員の期末手当の支給月数を0.05月引き上げるものです。

問

桶川市と同様に、特別職報酬等審議会の答申を経ずに期末手当の支給月数の改定を行っている県内自治体の状況を伺う。

答

平成29年度の状況ですが、県内40市中82%が特別職報酬等審議会に諮問をしないで改定しています。

問

答申を経ずに、改定をしてもよいと変更された根拠を伺う。

答

昨年度開催した特別職報酬等審議会において、他市の状況を踏まえ、市職員の人事

院勧告に沿う形で改定と連動すると、支給月数を上げる場合もあれば、逆に下げる場合についても速やかに改定を行えるというところで、その答申を尊重し今回の制度にしています。

※反対討論がありました。

問

次回の2つの議案は、埼玉中部資源循環組合を解散することに関し、議会の議決を求めるものです。

答

現状では2億円程度という試算ですが、この金額は、今後増減する可能性があります。

問

今後のごみ処理の見通しと方向性について伺う。

答

新ごみ処理施設建設までの間、燃やせるごみの処理を近隣団体や民間の焼却施設にお願いをしていますが、今回このようなことになりましたので、何らかのゴールを示すことにより今後の見通しも見えてくるものと思います。

問

方向性は、基本的にはごみ処理広域化の考え方を踏まえつつ、あらゆる可能性を検討します。

答

埼玉中部資源循環組合の解散及び財産処分について

問

桶川市に今後戻ってくる金額を伺う。

答

計画積立金の返金が1億3,306万4,000円、その他の現金は、6,718万4,800円程度です。

問

現状では2億円程度という試算ですが、この金額は、今後増減する可能性があります。

答

台風19号に伴う被害に対応するため、緊急に予算措置を行ったものです。(専決処分) 《主な事業》 ・いずみの学園の復旧に要する経費 ・土のうや看板設置、浸水対応等に要する経費 ・被害認定された住宅の応急修理に対する補助金

補正予算

台風19号に伴う被害に対応するため、緊急に予算措置を行ったものです。(専決処分) 《主な事業》 ・いずみの学園の復旧に要する経費 ・土のうや看板設置、浸水対応等に要する経費 ・被害認定された住宅の応急修理に対する補助金

請願・意見書・人事案件／採決結果

請願

本定例会に提出された次の請願は、委員会審査を経て、本会議で採択されました。

児童発達支援センターいずみの学園の移転について

【要旨】

桶川市児童発達支援センターいずみの学園について、水害危険度の低い場所への移転を早急に検討し、実現していただきたい。

【請願者】

桶川市児童発達支援センター
いずみの学園 父母会

議員提出議案

議会は、1件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。(要約)

令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書

台風19号等の影響によ

り東北から東海にかけて、河川の堤防が決壊した他、浸水被害、土砂災害等が多数発生し、甚大な被害をもたらした。

政府においては、どこまでも「被災者第一」で、今後の生活支援、早期の住まいの確保、産業・生業の支援など、被災者に寄り添った支援が求められる。

また、ライフライン、交通インフラの早期復旧、決壊した河川の堤防等では、二度と災害を起こさない「改良復旧」を強力に推進するとともに、ソフト・ハード両面にわたる復旧・復興に向けた総合的な支援策として、次の措置を強力に講じることが強く求められるのである。

1 被災者の1日も早い生活再建のため、既存制度の対象拡大や要件緩和など弾力的な運用を行うこと。

2 医療施設、社会福祉施設、学校教育施設等の復旧、再開に向けて、必要な支援を行うこと。

3 商工業、農林水産業の早期事業再開のため、被災した事業用建物、設備、機材等の復旧を支援する補助制度を創設すること。

4 被災地の風評被害払拭のため、旅行商品・宿泊料金の割引等に対して必要な観光支援を行うこと。

5 被災地の切れ目ない復旧・復興の推進のため、復旧作業の進捗を見極めつつ、補正予算の編成について適切に判断すること。

6 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の計画通りの遂行と、期間終了後も必要となる対策が講じられるよう、継続して予算措置を行うこと。

人事関係

監査委員を同意

江森 誠一 氏

12月定例会の採決結果

◆次の議案は全会一致で可決・承認されました。

議案番号	議案名	議案番号	議案名
第71号	令和元年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	第80号	桶川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
第72号	令和元年度桶川市介護保険特別会計補正予算(第3回)	第82号	埼玉中部資源循環組合の規約変更について
第73号	令和元年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	第83号	埼玉中部資源循環組合の解散及び財産処分について
第74号	令和元年度桶川市公共下水道事業会計補正予算(第2回)	第84号	市道の路線の認定について
第75号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度桶川市一般会計補正予算(第4回))	第85号	市道の路線の廃止について
第76号	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	請願1号	児童発達支援センターいずみの学園の移転について
第78号	桶川市職員の給与に関する条例及び桶川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	議第3号	令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書
第79号	桶川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例		

◆賛否が分かれた議案は次のとおりです。

○は賛成 ×は反対

※議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	新公会					新風クラブ21			公明党		日本共産党	政和会		ともに生きる会		無党派	
			砂川和也	岡野千枝子	岡安政彦	相馬正人	糸井政樹	にいつま亮	新島光明	江森誠一	佐藤洋	岩崎隆志	保坂輝雄	仲又清美	坂本敏治	星野充生	加藤ただし	山中敏正	北村あやこ
第70号	令和元年度桶川市一般会計補正予算(第5回)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○
第77号	市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○
第81号	桶川飛行学校平和祈念館設置及び管理条例	可	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	
第86号	監査委員の選任について(江森誠一氏)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

一般質問

本市のごみ行政について



相馬 正人

新政会



問 安定的なごみ処理体制の確立を

するために必要なことは何か伺う。

答 複数の団体が共通の課題認識を持ち、その課題解決のために信頼関係のもと取り組むことが必要と考えています。

さらに、施設を建設するに当たっては、プロセスを踏み、ごみ処理施設の必要性について各団体の住民理解を得ながら進めるとともに、施設稼働後には施設規模などに応じた効率的な維持管理を行うことで、安定的なごみ処理を長期間にわたって確立することが可能となると考えています。

問 広域化のメリットはどこにあるのか。

広域化のメリットはどこにあるのか。

答 廃棄物処理経費の効率化によるコスト削減が図られることが一番のメリットです。

問 来年度以降の見通しについて教えてください。

答 今年度は、さいたま市、川越市、川島町、蓮田白岡衛生組合の4団体に本市の燃やせるごみを委託いたしました。このうち川越市につきましても、焼却施設の大規模修繕が計画されており進捗することとなり、委託は9月末で終了しています。また、来年度以降は、川越市を除く他の3団体には当初より2年間の受け入れをお願いし、ご理解をいただいているところと

立までの処理について

立までの処理について

いては、どのように考えているのか伺う。

答 本市のごみ処理を安定的に行うために、新ごみ処理施設の稼働までの期間、他団体のご理解、ご協力をいただきながら、ごみ処理の委託を継続していかなくてはなりません。

引き続き他団体の焼却施設の状況などを伺い、できるだけ多くの近隣団体に受け入れていただけるよう進めながら、ごみ処理が滞らないように、あらゆる可能性を検討していく必要があると考えています。

問 ごみ減量化への成果を教えてください。

答 平成28年度より組んだ結果、取り組み前の平成27年度には4,458トン、1人1日当たり162グラムであったものが、平成29年度には3,526トン、1人1日当たり128グラムと大幅に削減され、一定の成果が見られました。

台風19号による、いずみの学園の被害と今後



岡野千枝子

新政会



問 いずみの学園の被害状況と対応を伺う。

いずみの学園の被害状況と対応を伺う。

答 荒川の水位上昇に伴い、石川川樋管の閉鎖や樋管周辺の越水により、内水が上昇し、石川川に隣接するいずみの学園の敷地内や施設内に床上30から50センチまで浸水した形跡があり、廊下や部屋が浸水状態でした。また、調理室の冷蔵庫等が倒れて損傷し、和室の畳や指導室の園児用木製ロッカーも損傷するなどの被害状況でした。

学園の園児に対する対応は、児童にとって環境を替えることによる混乱と負担を最小限にするため、10月25日から11月22日までの間、午前10時から正午まで保健センター2階で一時的に療育をし

問 今後の対応について

今後の対応について

問 今回の議会で、いずみの学園の移転に関する申請書が出たが、障がい児保育の近隣の状況を伺う。

いずみの学園の移転に関する申請書が出たが、障がい児保育の近隣の状況を伺う。

答 近隣の児童発達支援センターの状況は、上尾市が新たな子ども・子育て支援施設の整備で、市内2カ所の保育所と児童発達支援センター、児童発達相談センターの施設の集約化がされることと、今年度4月に開所予定です。

緑地を取り崩して新たなスペースを設ける事になると広場内の車両の巡回や合流、広場内の通路を横断する駅利用者が増え、車両との接触事故の可能性が高まります。今後は、東口駅前広場が整備された後、西口ロータリー全体のリニューアルを行う際に検討をします。

問 今後の対応について

今後の対応について

状況を2日間調査した結果によると、送迎バス、学校が7法人、企業が7法人、2日間で朝夕合わせて延べ178便の運行を確認しました。この他に観光ツアーバスも延べ9台を確認しました。

また、時間帯により、塾などの送迎車の路上停車があり渋滞しています。ロータリーの緑地帯を取り崩す考えがあるのか伺う。

答 ロータリー設置当時は、コインパーキングが設置されましたが、送迎車両の増加に対応するため現在の形状となりました。

緑地を取り崩して新たなスペースを設ける事になると広場内の車両の巡回や合流、広場内の通路を横断する駅利用者が増え、車両との接触事故の可能性が高まります。今後は、東口駅前広場が整備された後、西口ロータリー全体のリニューアルを行う際に検討をします。

問 今後の対応について

今後の対応について

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

桶川市の防災対策について



岡安 政彦

新政会



問 今回の台風での避難所の対応について伺う。

答 今回の台風での避難所は、計10カ所開設し、市のホームページ、防災情報メールのほか、先般防災協定を締結したヤフー株式会社提供しているヤフー防災速報にて周知をしました。

問 今後、今回の避難所開設における課題の整理をして、今後の防災訓練や地域防災計画に反映させていきたいと考えています。

答 自助・共助・公助と言われるなかで、現在、最も重要なのが自助と考えるが、市としての考えについて伺う。

答 自助・共助とも考えています。災害が起きたら、まずは自ら命

を守る行動をとっていただく必要があります。災害発生時には市民の皆様が命を守る行動をとるための意識啓発や情報発信が行政の役割と考えます。

問 また、阪神淡路大震災における救助の主体が近隣住民等によるものであった実態があり、共助についても重要と考えます。

答 災害時では自主防災組織が大切な要と考えるが市の考えは、過去の災害の実例からも、共助の担い手の自主防災組織が地域防災の要と考えます。

問 自主防災組織にどのような対応をとっていたのか伺う。

答 今回の台風での対応では、避難勧告発令時に、自主防災組織連絡協議会会長へまず

一報を入れ、発令地域の各自主防災組織会長へ個別に連絡をし、地域の皆様への周知を図りました。

民生児童委員について

問 民生児童委員の活動内容を伺う。

答 関係機関への橋渡しなど地域福祉推進の担い手と活動しています。

問 費用弁償について

答 費用弁償については、全国的な自治体へのアンケート結果の報告の中で、決して多くないと報告されている。市として出来る事があるか伺う。

問 民生児童委員を取り巻く社会情勢は厳しさを増していき一方、かかる期待は、ますます高まっています。

答 負担感の増加などを鑑みますと、金銭補助という考えもありますので、近隣市町の状況等も踏まえ、県にも働きかけを行うなど検討していきます。

駅東口整備事業について



加藤 ただし

政和会



問 ①下水道等の整備予定は一番街通りから20年度の着手の理解でよいか伺う。

答 一番街通りは2020年度以降早期に着手できると考えています。

問 南小周辺も順次整備するのか。

答 順次整備を進めます。

問 ②南小跡地利用の今後の取り組み

答 は、道路や下水道等のインフラ整備を早期に行い、コンセプトや利活用の手法を決定する流れか。

問 その流れで基本進めます。

答 都市計画の見直しや変更が必要となるが期間はどれほどか。

答 関係期間の調整、地元の合意形成が前提で約2年を要します。

問 都市計画の変更がポイントになるため、早期に進めたい。

答 積極的に対応する考えです。

問 これからのごみ処理について

答 2018年度と2019年度のごみ処理費用の比較について伺う。

答 概ね3億円増加しています。

問 年間3億円多くかかり、期間が不確定も問題がある。

保育のあり方について

問 ①運営費の助成に
関し、民営と公営との費用負担の差額は、

答 国、県の補助額3億4,000万円です。3億4,000万円の負担は大きい、公立保育所の役割やいずみの学園のインクルーシブ教育の導入等、子育て環境の確保や財政改革も考慮し議論してほしい。

問 公立保育所のあり方検討委員会の方針の策定を進めます。

答 ②保育士求人に伴う国や県からの家賃補助制度を活用し事業主が住宅を借上げることに
により、住民票が移り、市民税が入ることから市の3/16の負担は高くなる、2020年度から積極的に進める補助事業と考えるが、如何か。

答 保育士確保と市内定住等を考慮し実施について検討します。

南小跡地の活用について



保坂 輝雄

公明党



検討してまいります。
全庁的な検討委員会を立ち上げ、

来年度中の南小跡地利活用案の策定を要望するが、本市の見解は。

体制を含め、検討を進めます。

問 南小跡地の利活用について、官民連携による公共施設と民間施設の複合型が望ましいと考えるが、どうか。

答 官民連携による整備手法も含め、今後検討していきます。

問 南小跡地の公共施設に関し、駅前子育て支援センターを移設するとともに、児童館、保育所、駅前送迎保育ステーション等を設置し、「子育てするなら桶川」のシンボルとなる子育て拠点としての整備を提案するが、本市の見解は。

答 待機児童の解決策として有効と考え、検討いたします。

問 子育て世代だけでなく、高齢者を含めた全世代型の居場所づくりとしての整備も

必要だと思いが、どうか。
選択肢の一つとして検討します。

問 居場所づくりの観点から、広場や公園も設置すべきだと考えるが、どうか。

答 アンケート結果や防災上の観点から、広場や公園も検討が必要と考えています。

問 民間施設として桶川の特性を活かした和テーストのホテルや入浴施設を誘致し、差別化を図ることを提案するが、本市の見解は。

答 ご提案について、今後庁内で整理したいと考えております。

問 さらに、産婦人科医の誘致も必須だと思いが、どうか。

答 地元医師会にも協力をいただき、

台風19号等の避難者の送迎は自主防災組織・民生委員への要請が一番ベストか



渡邊 光子

無会派



災害対策本部を設置して災害対応に当たり、判断指示の情報収集、道路冠水による交通の規制、家屋への浸水防止のための土のう袋の配布、避難所の開設、運営等の災害対策本部の業務に対応して

問 桶川市は10月12日13時災害対策本部を設置。昨日の警戒態勢から避難勧告レベルに引き上げる。自主避難所5カ所に加えて、避難勧告レベルに引き上げ後、さらに5カ所の避難所開設準備にはいる。私自身は、テレビの警報を受け、自宅で待機していたところに「近くの議員と民生委員に電話したが連絡が取れない。避難所に連れて行ってほしい。」という電話であった。私はすぐ災害対策本部に電話をしたが「人手がないので迎えに行けない。」との返事。「では私が迎えに行きます。」と言い迎えに行き、避難所へ送り届けて、時計に目をやると16時40分だ。避難所へ電話して避難者数を聞くと約80人と

いう。台風の大きさから停電が推測でき、明るいうちの夕食を避難所に促す。危険予知不足を覚える。テレビでは今までに経験したことがない強い台風、十分な備え、早目の避難をテレビでは繰り返して訴えていた、その最中の桶川市の災害対策本部を伺う。

答 緊急体制3号配備（職員動員3分の1）で対応し、概ね2分の1に当たる250人の職員を動員し災害に当たりました。議員質問のとおり、市民の生命、身体及び財産を保護するのは市の務めであると承知しています。当然目の前に困っている人がいれば助けなければならぬというところは、承知していただきます。しかしながら市は、

災害対策本部を設置して災害対応に当たり、判断指示の情報収集、道路冠水による交通の規制、家屋への浸水防止のための土のう袋の配布、避難所の開設、運営等の災害対策本部の業務に対応して

いた。台風の大きさから停電が推測でき、明るいうちの夕食を避難所に促す。危険予知不足を覚える。テレビでは今までに経験したことがない強い台風、十分な備え、早目の避難をテレビでは繰り返して訴えていた、その最中の桶川市の災害対策本部を伺う。

緊急体制3号配備（職員動員3分の1）で対応し、概ね2分の1に当たる250人の職員を動員し災害に当たりました。議員質問のとおり、市民の生命、身体及び財産を保護するのは市の務めであると承知しています。当然目の前に困っている人がいれば助けなければならぬというところは、承知していただきます。しかしながら市は、

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

「市民を水害から守る」について



岩崎 隆志

公明党



問 江川調節池工事の今年度の工事計画を伺う。

答 桶川西中学校の南側を東西に連絡する市道3213号線の橋梁のかけかえ工事を着手すると伺っています。

問 江川調節池及び上流部の河道拡幅の目的は、流下能力、荒川への排水能力を増すことにより、江川流域の氾濫を抑えるという認識でよいでしょうか。

答 調節池は、大雨などの際に下流部の水位上昇を低減するためのピークカットを目的としており、上流部の河道拡幅は、上流部の流下能力を向上させ、洪水時の河川水位を低下させることを目的として改修を行うと伺っています。

(仮称)道の駅
おけがわについて

問 用地取得の進捗について伺う。

答 市整備範囲はすべての地権者と契約を締結しました。国整備範囲は令和元年11月末時点で21名中18件の方と契約し、残り3名の方も手続きに時間を要していますが、ご理解は得られています。

問 整備事業者選定等支援委託について伺う。

答 道の駅の整備を行う民間事業者の選定を支援するための業務委託です。

問 完成開業目標年度について伺う。

答 完成開業目標年度について公表実施方針を公表

し、民間事業者の募集に着手する際にお示しできると考えます。

問 実際に道の駅の整備を行う民間事業者の選定へのサポートをしてもらうという二重にも三重にも今後の道の駅が栄えていくための布石を打っていらっしゃるということと安心をした。ここで改めての決意を市長にお願いしたい。

答 この道の駅が地域振興の起爆剤となり、また防災の拠点となることで、市民の皆様にとりまして本当にできてよかったと思える道の駅を目指してまいります。



桶川市のスポーツ振興について



砂川 和也

新政会



問 桶川市のオリンピック・パラリンピック振興の取り組みについて伺う。

答 東京オリンピックの開会式直前に行う聖火リレーが7月9日、桶川の中山道を通する事が決定し、少しでも市民の皆さんに記憶として残る取り組みを検討して参ります。

問 1964年に、聖火ランナーが走った本市の写真を見ると子どもから大人まであふれんばかりの人が声援を送り、旗を振る姿が残っている。是非、桶川の子ども達も歴史ある中山道を聖火ランナーが走る姿を見学できるように強く要望したい。次に、市制施行50周年と重ねて行うスポーツ振興の取り組みを伺う。

答 オリンピック・パラリンピック開催と市制施行50周年が重なる事からスポーツ振興として次の事業を準備しています。「第47回日独スポーツ少年団同時交流事業」を8月12日から8月16日の5日間行います。ウエルカムパーティーや歓迎行事、意見交換会などを盛り込む予定です。期間中は、ドイツの子ども達をホームステイにて受入れることになり、多文化交流も図れるものと考えています。また、「令和2年度埼玉県レクリエーション大会inおけがわ」を11月22日に行います。市民ホールで行う開会式やサン・アリーナ、西公園園を会場として協会加盟団体による種目別の交歓会を予定しています。

定しています。

問 近隣の市では、オリンピックの事前トレーニングキャンプ地の誘致活動を行い、成功している。このような多文化交流は子ども達には、記憶に残る貴重な体験になると思う。誘致できない理由を伺う。

答 事前トレーニングキャンプ地の誘致につきましては、スポーツや文化交流など、子ども達には記憶に残る経験になると認識しております。引き続き窓口となる埼玉県との情報を注視しながら取り組んで参りたいと存じます。



前回の東京オリンピックで中山道を走る聖火ランナー

台風第19号における災害対策について



山中 敏正

政和会



問 台風19号を経験し、災害対策に関して気づいた点や教訓とすべき点について伺う。

答 本部と避難所との情報共有のあり方でございます。避難所に対して避難者の方が知りたい情報を迅速に、そして正確に提供できるように検討が必要であると考えております。

問 桶川市の防災情報メール登録で、操作になれていない方への対策といたしまして、各地域への出前講座の取り組みについて伺う。

答 自主防災組織からの講話の依頼や市民の皆様からのご要望がございましたら、出前講座のような機会を設けさせていただき、防災情報メールの登録を一層進

めてまいります。荒川本線沿いの堤防強化について伺う。

問 荒川上流河川事務所が管理する荒川中流部の開平橋から荒川大橋までの区間における堤防の幅や高さが不足している箇所において、必要な堤防整備を進めることと伺います。

答 桶川分教場について

問 2020年の完成の年は戦後75年目に当たり、桶川市制50周年の年となる。戦争遺産である飛行学校を管理していくためには、国の重要文化財の指定は必要であるかと考えるが、どうか。

答 国の重要文化財に指定されるためには、飛行学校が文化財としての価値があることを文化庁に知ってもらう必要がございます。そのためには、完了した後は修理工事報告書を作成し、文化庁に提出して目にとまるような働きかけが必要と考えております。

問 首都圏中央自動車道をおりて道の駅で休憩し、1時間以内で同インターチェンジから戻ると乗り続けたのと同じ料金となり、割高にならない賢い料金への取り組みについて伺う。

答 道の駅事業地は、

桶川北本インターチェンジのすぐ近くに位置しており、サービスが導入されれば、圏央道の利用者が桶川の道の駅に立ち寄りやすくなるかと考えておりますので、国とも調整をしております。

旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場について

問 2020年の完成の年は戦後75年目に当たり、桶川市制50周年の年となる。戦争遺産である飛行学校を管理していくためには、国の重要文化財の指定は必要であるかと考えるが、どうか。

答 国の重要文化財に指定されるためには、飛行学校が文化財としての価値があることを文化庁に知ってもらう必要がございます。そのためには、完了した後は修理工事報告書を作成し、文化庁に提出して目にとまるような働きかけが必要と考えております。

問 桶川市で実施する場合の問題点はどうなるか。

答 桶川市で実施する場合の問題点は、令和2年度以降も引き続き工事を実施し、早期の完成を目指していくと伺っております。

学校給食費で試算すると、毎年約2億5,000万円の多額の費用を要するなどの理由から、現在のところ学校給食費の無償化の検討には至っておりません。

学校給食費の無償化の実施を求め



坂本 敏治

日本共産党



問 県内の市町村の実施状況について伺う。

答 全額補助を実施しているのが、4町村、第3子以降への補助等の一部補助を実施しているのが15市町となっております。

問 桶川市で実施する場合の問題点はどうなるか。

答 桶川市で実施する場合の問題点は、令和2年度以降も引き続き工事を実施し、早期の完成を目指していくと伺っております。

を築堤、増水した水を安全に流下させるために必要な堤防整備など、荒川の治水対策について事業推進が図られるよう、引き続き強く要望してまいりますと伺います。

問 西側大通り線の交通安全対策について

答 北本市内の県道に接続されたが、交通量変化を調査する予定を伺う。

問 桶川市で実施する場合の問題点はどうなるか。

答 桶川市で実施する場合の問題点は、令和2年度以降も引き続き工事を実施し、早期の完成を目指していくと伺っております。

問 桶川市で実施する場合の問題点はどうなるか。

答 桶川市で実施する場合の問題点は、令和2年度以降も引き続き工事を実施し、早期の完成を目指していくと伺っております。

問 桶川市で実施する場合の問題点はどうなるか。

答 桶川市で実施する場合の問題点は、令和2年度以降も引き続き工事を実施し、早期の完成を目指していくと伺っております。

問 桶川市で実施する場合の問題点はどうなるか。

答 桶川市で実施する場合の問題点は、令和2年度以降も引き続き工事を実施し、早期の完成を目指していくと伺っております。

台風19号の教訓化を！
荒川の未整備堤防、県道川越栗橋線浸水、
江川周辺調整池対策を求めて



新島 光明

新風クラブ21



問

①越水した柏原
付近の無堤防整備

は早急に国に求めるべき
と思うが市の対策を伺う。
②県道川越栗橋線の冠水、
とりわけ江川周辺は毎年
交通止めが一番の心配は、
1分1秒を争う救急車両
の遅れ。新滝の宮橋の延
伸等を早急な県への要望
を伺う。

答

①無堤防区間や
堤防の幅・高さ不

足箇所は整備は、荒川上
流河川事務所も開平橋か
ら熊谷市内の荒川大橋ま
で進めています。そこで
特に無堤防区間の整備は、
早急に強く要望します。

③下東区画整理の調整池
はなぜ水は溜らなかった
のか。早急な改善策を伺
う。
④台風19号の際の調整池
の貯水量を伺う。

⑤あと3,000トン貯水可能と
すると、下流域は一定時
間負担が軽減される。構
造を変更できないか伺う。

⑥下西調整池を掘り下げ
るとの話もあるが予定を
伺う。

⑦上尾市の避難準備情報

で、いずれにせよ、市移
管の際は、雨水流出抑制
施設として適正な状態を
指導していきます。

④当調整池の最大貯水量
は約540m³ですが、今回の
貯水量は約2,000m³程度です。

⑤オリフィスの出口構造
等を変えて貯水量を増や
す協議を区画整理で始め
ています。

技術的に十分可能なの
で、浸水被害の軽減に向
けて工事を実施していき
ます。

⑥下西調整池は平成6年
に計画通り整備され、平
成21年に掘り下げが決定
されたもので、県の江川
河川整備計画見直しの為
の水利解析作業を見据え、
調整池の形状等を再検討
した上で予算化していき
ます。

⑦緊急エリアメールは、
緊急地震情報や災害避難
情報等を対象エリアに登
録が無くても一斉送信さ
れるもので、有効なツ
ールですので今後検討し
ていきます。

メイン連絡橋に屋根とスロープを



浦田 充

ともに生きる会



問

メイン連絡橋に
屋根やスロープを

答

屋根は、デッキ
自体を耐火構造に

直し、各部材の補強も必
要で、設置に時間がかか
ります。階段部分のスロ
ープは商業施設側の管理
なので、施設側から相談
があれば、対応します。

問

メインは図書館
や連絡所など、公

共性が高い。市から、ス
ロープの要望が多いと、
伝えられないか。

答

実現に近づくよ
う市としても積極

的な対応を心がけます。

西口トイレとロータ
リーの改修を

問

桶川駅西口のト
イレ改修の予定は。

答

衛生機器などの
進化や施設の老朽

化など、今後、建てかえ
を含めた改修の必要性は、
十分認識しています。

問

現在行っている
自由通路の耐火性

改修工事と、なぜ一緒に
できなかったのか。

答

駅舎の改修は、
を設置する条件のため、

工事を行っています。その
ため、併せて西口トイレ
の改修予定はありません。

問

西口トイレの耐
火性や耐震性に問

答

題はないのか。
現在、既存不適

問

西口ロータリ
ーに屋根の設置は。

答

東口整備後、西
口ロータリーのリ

ニューアルとあわせて検

討したいと考えています。

障がいの理解を深め
る教育上の取り組み
を

問

障がいを理由の
いじめは、過去に

答

障がいという言
葉を使った友達へ

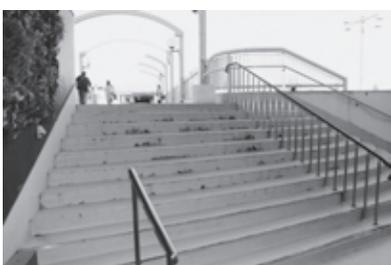
問

障がいに対する
教育が不十分で起

答

障がいを理解し、
深く考える機会を

十分持てるよう、努力し
て行きます。



メイン連絡橋の階段部分

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

医療施設が必要とのアンケートはなぜ実現しないのか



北村あやこ

ともに生きる会



問 第五次後期総合振興計画に平成25年のアンケートがある。

10年後に望む将来像で、医療施設や保健サービスの充実が54%と最も多い。

答 ところが計画に、医療の充実がほとんど盛り込まれていない。なぜか。

問 今後、アンケートをもとに十分検討していきます。

答 2025年、2040年問題での市の予測は、2025年の高齢化率(65歳以上)は29.82%

、2040年は33.37%、という状況です。

問 85歳以上の高齢者が増え、尊厳をもって地域で暮らすには、

地域包括ケア、介護だけでなく総合診療が重要になる。医療法第1条の地方公共団体の役割をどう

認識しているのか。

答 国民に対し良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保に努めなければならぬと考えています。

飛行学校整備のずさんな工事ものつくり大学の暴走を止めよ

問 これまで数々のずさんな工事があ

ったが、今回、防火水槽工事の山どめがされていないことがわかった。ここ2カ月、問い合わせに答えなかったのはなぜか。

答 事実を確認できませんでした。

問 大変な問題だ。杭や機械の搬入、

杭の打ち込み、掘削の場面など、工事記録写真がない。職員が2カ月、現場に行かなかったのか。

答 鋼矢板の打ち込みができなくなる

事実が発生し、オープンカット工法に変えました。

問 勝手に主任監督員(ものつくり大

学横山教授)が工事を変更し、承諾もなく、先行したのではないか。金額が増減したのかも不明だ。

答 市長、主任監督員は、金額に関しては、タッチできなかったはずだ。

問 ものつくり大学とは、平成27年から官学連携協定を締結し、

復原整備事業を進めてきました。北村議員の言う通り、公共工事であり、透明性を確保し、説明責任があります。今後、どのような方法で確認するか検討していきます。



飛行学校整備工事・鋼矢板工法からオープンカット工法に勝手に変えた工事
2019年12月20日撮影

終活支援について



にいつま亮

新風クラブ21



問 終活支援について市の取り組みを

伺う。

答 市や地域包括支援センターでのエンディングノートの配布や高齢者に関しての成年後見制度や財産管理等の相談受付を行うとともに、

住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けていただけたら、市民講座等を開催し、普及啓発に努めております。

問 終活の相談状況について伺う。

答 地域包括支援センターで受け付けた成年後見制度についての相談件数は平成28年度

9件、平成29年度6件、平成30年度22件であります。

問 終活に特化した窓口の創設について

て市の見解を伺う。

答 現在、高齢介護課、地域包括支援センターの連携という形で終活支援を行っております。

相談に特化した場の創設につきましては、社会福祉協議会や関係機関と連携しながら、先進事例の研究調査を行ってまいります。

問 上尾市などで民間との協働事業で終活支援をしているが本市の見解を伺う。

答 民間企業との協働事業につきまして、上尾市の例も参考にしながら、今後検討してまいります。

問 外国語専科教員の今後の配置について伺う。

答 今年度、2校を兼務する形で配置をされておりますが、引き続き、県教育委員会には、配置の要望、希望をしております。

問 教員の負担軽減、指導力の格差を出さないために市独自の英語専科教員の採用を望むが、市の見解を伺う。

答 現時点では、市独自の英語専科教員の採用については、予定はしておりません。研修を充実させながら、各校充実した英語教育ができるように努めてまいります。



初議会の様子



定例会のお知らせ

3月定例会は令和2年2月21日(金)9時30分開会、会期日程は以下の予定です。

(※議長のご公務や事業等の都合により変更する場合があります。)

[会期日程(案)]

2月21日	開	会	日
25日	本	会	議
28日・3月2日・3日	常	任	委
3月4日	本	会	議
5日・6日・9日～11日	常	任	委
12日・16日～18日	一	般	質
19日	本	会	議
25日	本	会	議
26日	閉	会	日

◆12月議会本会議傍聴者数

月 日	人
12/11	5
12/19	6
12/20	19
12/23	21
12/24	2
12/26	6
合 計	59

本会議のライブ中継を始めます！

市議会では、令和2年3月議会より、インターネットを利用した本会議のライブ中継を新たに開始します。

パソコンやスマートフォンから、本会議の様子がリアルタイムで、どこでもご覧いただけます。

ライブ中継に関する詳しい情報は、今後、市議会のホームページにてお知らせをさせていただきます。

声の市議会だより、点字版市議会だよりのご利用を！

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により「声の市議会だより」、「点字版市議会だより」(紅花の会) (点字レモンの会)

を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 786-3211(代表)

788-4963・4964(直通)



編集後記

昨年11月の選挙を経て、議会だより編集委員会もフレッシュな顔ぶれとなりました。新しい感性が早速紙面に活かされていますが、お気づきになりましたでしょうか。

今後より良い紙面づくりを目指してまいります。さて、今年には東京オリンピック開催の年ですが、同時に戦後75年、そして市制施行50周年という節目の年でもあります。次の100周年に向けて、憲法の謳う恒久平和に向けて、私たちは何をすべきなのか、一緒に考えましょう。(星野)

議会だより編集委員会

委員長 星野 充生
副委員長 砂川 和也
委員 保坂 輝雄
委員 にい つか
委員 浦田 亮
委員 山中 敏正
委員 渡邊 光子
委員 糸井 政樹